

ユズリハ だより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp **100号**

2016. 9. 20 (No.100)
東京公害患者と家族の会
文京区大塚4-2-11
恩田ビル304
TEL03-6912-1656 FAX03-6304-1418
ぜん息110番
03-6912-1657



8月27日足立区曙会館で行われた、足立支部「夏のつどい」で記念講演をしてください。

庶民の生活を守ってきた！

清水鳩子さんのお話し
主婦連第4代会長
現主婦会館 プラザF館長

ださった、清水鳩子さんのお話しをご紹介します。奥むめおさん（市川房江さん・平塚らいてうさんと戦前から女性の地位向上運動を進めてきた）と共に、消費者運動に取り組んでこられたお話しに、私たちが学ぶべきことが多くあると思えました。1947年、女性初の参議院議員になられた奥むめおさんが、国会で大根1本の値段を知っているかと質問されたそうです。その奥むめおさんが初代会長を務めた、主婦連・大衆運動に心血を注いで現在に至るのが、清水鳩子さんです。昭和23年、配給の燃えない不良品のマツ

チを優良品に取り換えさせる「大衆運動」により、マッチの統制が外れ、自由競争になりました。優良商品が消費者が選択できるようになったのです。清水鳩子さんが農林水産省の諮問機関であった「米価審議会」の委員をされたとき、1969年に「自主流通米制度」が発足、1972年に消費者米価が自由化され「標準価格米制度」ができた。高くても美味しいお米を買う人、家族のお腹を満たすために手ごろな値段のお米を選ぶ人。消費者が選択できるようになった影に、清水鳩子さんたちの努力があったと知りました。

東京都の公害監視委員会に団体代表として参加していた時から、一酸化窒素（NO2）カプセルの測定に長い間かわって来られました。大気汚染による被害を実感しておられた清水鳩子さんは、私たち患者会が「東京大気汚染公害裁判」を提訴すると、支援の方々と組織された「勝利実行委員会」会長として加わってください。様々な重要な場面で助けていただきました。裁判解決後は患者会・弁護団・支援者による「勝利実行委員会」から「あおぞら連絡会」と改名した会の理事長を8年間務めてくださいました。いつも患者に寄り添って、一緒に座り込みをしてくださったこと、忘れません。

これからの予定とお知らせ

9月

- 26(月) ユズリハ 9月号
公害対策まちづくり委員会 13:30~
- 27(火) 中央区公害対策交渉
- 28(水) 都議会開会日行動12:15~
- 30(金) 大気全国連絡会議(大阪)
裁判解決10周年企画委員会14:00~

10月

- 1(土) NO2測定報告集会 13:00~
- 2(日) 足立支部日帰り旅行
- 3(月) 救済問題懇談会 10:00~
- 6(木) 弁護団会議 10:00~
- 9(日) 拡大幹事会 14:00~(患者会事務所)
(三役会 12:00~)
- 11(火) 新宿区公害対策交渉 10:00~
- 12(水) 事務局会議 10:30~
- 16(日) ぜん息学習会(立川相互病院)9:30~
- 17(月) 弁護団会議 18:00~
- 19(水) 健康づくり委員会 13:30~
- 20(木) 大田支部会議
豊島支部会議
- 25(火) ユズリハ10月号発行 10:00~
まちづくり委員会 13:30~

医療券更新手続き忘れずに！
誕生日が近づいたら注意
2年に一度、お誕生月の2か月前には、更新手続きのための書類が送られてきます。書類が届いたらできるだけ早く手続きをしてください。

更新を忘れると「失効」します。医療費が全て自己負担になります。かかりつけの医師に、主治医診断書を書いてもらってください。保険証のコピーを忘れずに。わからない場合は、遠慮なく患者会に連絡してください。

活用してください！
公健法認定患者のみなさまには、今月号のユズリハに「補償法の手引き」を同封しました。保存して、読んでください。

東京公害患者と家族の会

4月の一泊旅行に続く、日帰り企画です。体調と相談してご参加ください。

2016年11月30日 秋の成田山公園へ 日帰り旅行

(雨天中止)

日時 11月30日(水) 9時30分集合
集合場所 日暮里駅改札前

※ 京成本線2番線(9:38)・・・京成成田駅着(10:41)
※ 参加申し込み・患者会事務局 TEL 03-6912-1656

費用について
・交通費は自己負担でお願いします
・昼食代は一人2,000円まで患者会で負担します



初日、有明海・諫早湾の現地を感じたこと
 8/26日飛行機から見た青い諫早湾とその真中を分断する潮受け堤防と水門、湾奥の緑地と湾のブルーの対比が鮮やかでした。真下で農民と漁民の生活を切り捨てる悪政によって、対立させられ、生活を奪われ、闘いの日々を強いられ続けている、福島の被害住民に対する国の棄民策とがダブる中で長崎空港へ着陸。平成のピラミッドかバベルの塔か、

無駄な労力を浪費して造った幅80mの長大な潮受け堤防の上に立つと、陸側（調整池）の濁った緑の湖面と悪臭と対比して外側の蒼いやや波立つ諫早湾がそのまま、農民と漁民の苦悩といらだちとなって迫ってきました。特に堤防に近い清水町の漁民が堤防によって魚介類が死滅し、漁業を断念せざるをえなかったことを直に聞き、漁師の無念



ないにもかかわらず、突然等級の引き下げを通知して来ました。支給される補償費も引き下げられ、生活に大きな影響が出ました。患者さんからの相談を受け、文京支部・患者会は「異議申し立て」をしましたが、却下となり、仕方なく補償法を所管する国（環境省）へ「不服審査」の申し立てをしました。

不服審査会開かれる！

9/2の不服審査会では、5名の患者や事務局員が代理人として「意見陳述」をしました。傍聴席にも大勢の患者や家族がおり、審査のやりとりを見守りました。

補償費は税金から拠出されているわけではありません

公健法の認定は1988年に打ち切られ、それまでに認定を受けた患者に支払われる補償費は、工場の煤煙等が大气汚染被害の大きな原因として、企業に煤煙等の排出量に合わせて賦課金を課しています。そこに、自動車重量是からの一部が加算され、患者の健康を奪った、損害賠償として補償費が支払われます。

公健法認定患者の方に知っていただきたい

上記のような、不当な等級の引き下げや認定患者さんが亡くなった場合などに、「補償制度」に

な日焼けした顔を忘れることができませんでした。夕方、山本新農水大臣が4人の漁民の声を上の空で聞いていたのが印象的でした。開門を求める地元住民が、農業か漁業かの二者択一でなく、両方が共に豊に前進できる方策の実現に向けて、国民的署名運動を始めたとき聞きました。一旦、福岡高裁の判決に従い開門に応じた国は、開門に応じず制裁金で逃れようとしています。水俣病、福島原発被害と合わせて、有明・諫早のたたかいは、被害者の生命と人権を国の強大な権力から守るたたかいであると、現地で実感しました。これらへの関わりは、私の生き方が問われる問題でもあり、双方を監視していかなければならないと思えました。

事務局 大越 稔秋

今年も九州現地調査行きました



上の図の赤線の部分の映像です

2日目、水俣現地調査
 8/27日水俣「ほつとほす」を訪問しました。ここは、胎児性水俣病患者の家。40歳〜60歳くらいの男女7名が全員、車で迎えに来てくれました。胎児性とは、母親のお腹にいるときに水俣病になる赤ちゃんのことで、生まれて7年もしないと立てない。「こんにちは、良くおいでくださいましす。」と言われても、ワーワーと聞こえるだけで、先生の通訳を通しての交流でした。

多くの赤ちゃんが死産や流産で命を失う中で、この7人は生き抜いて、生き抜いて、天寿を全うします。話を聞いて、涙

3日目、8/30日「水俣病解決総決起集会」に参加しました。東京・福島・新潟・関西からの参加者と、現地関係者の合同大会でした。スライドと馬奈木弁護団長の講演で学習し、闘う決意を新たにしました。

江東・墨田支部 田島 高則



2日目、水俣現地調査
 8/27日水俣「ほつとほす」を訪問しました。ここは、胎児性水俣病患者の家。40歳〜60歳くらいの男女7名が全員、車で迎えに来てくれました。胎児性とは、母親のお腹にいるときに水俣病になる赤ちゃんのことで、生まれて7年もしないと立てない。「こんにちは、良くおいでくださいましす。」と言われても、ワーワーと聞こえるだけで、先生の通訳を通しての交流でした。



が流れるだけでした。手製の紙袋としおりをお土産にいただき、「ほつとほす」をあとにしました。

5ページ遺族補償費の内容に誤りがありました

1. 「遺族補償の場合」四角い表の下段

遺族補償標準給付基礎月額で10年間支給されます

2. 「一時金の場合の対象者」四角い表の上段

配偶者と死亡認定患者の収入で生計を維持していた子・父 母・孫・祖父母で、遺族補償の対象とならない者

以上訂正いたします。

ついて知っていることは大事です。

補償法の手引き作り直した活用してください

公健法認定患者のみならずにお送りした、「補償法の手引き」文中に誤りがありました。訂正の5ページに、囲み文を切り取り挟んでください。訂正してお詫びいたします。

患者会には！

東京公害患者と家族の会には①「公害健康被害補償法」（公健法）認定患者・②「東京都大気汚染医療費助成制度」（都条例）認定患者・③「未救済」患者（病名が都条例の対象外・都外居住）の患者のみなさんが入会されています。①②③の場合は補償の内容が違います。